

富山県富山市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

| No | 指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号 | 当初値 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2030年（目標値） | 達成度（%） |
|----|--------------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------|------------------|--------|
| 1 | 市内総生産 【9.2, 11.3, 17.17】 | 2017年度 19,725 億円 | 2018年度 21,373 億円 | 2019年度 21,311 億円 | | 2030年度 21,054 億円 | 119% |
| 2 | 健康であると感じる市民の割合 【3.8, 11.3, 17.17】 | 2016年度 81.1 % | 2021年度 80.3 % | 2021年度 80.3 % | | 2026年度 86.0 % | -16% |
| 3 | 温室効果ガス排出量の削減割合 【7.3, 11.3, 17.17】 | 2017年度 11.4 % | 2019年度 15.5 % | 2020年度 18.1 % | | 2030年度 30.0 % | 36% |

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

| No | 取組名 | 指標名 | 当初値 | 2021年 実績 | 2022年 実績 | 2023年 実績 | 2023年 目標値 | 達成度 （%） |
|----|----------------------------------------|-----------------------------|---------------------|---------------------|-----------------|-------------|---------------------|------------|
| 1 | ①都市のかたち：公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現 | 総人口に占める公共交通が便利な地域に居住する人口の割合 | 2019年度 38.8 % | 2021年度 39.9 % | 2022年度 39.9 % | | 2025年度 42.0 % | 34% |
| 2 | ①都市のかたち：公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現 | 公共交通利用率 | 2019年度 15.7 % | 2021年度 13.3 % | 2022年度 14.5 % | | 2025年度 15.9 % | -600% |
| 3 | ①都市のかたち：公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現 | 中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量 | 2019年度（日曜） 46,638 人 | 2021年度（日曜） 45,896 人 | 2022年度 55,440 人 | | 2026年度（日曜） 46,000 人 | -1380% |
| 4 | ②市民生活：ヘルシー&交流シティの形成と質の高いライフワークスタイルの確立 | 健康であると感じる市民の割合 | 2016年度 81.1 % | 2021年度 80.3 % | 2021年度 80.3 % | | 2026年度 86.0 % | -16% |
| 5 | ②市民生活：ヘルシー&交流シティの形成と質の高いライフワークスタイルの確立 | 健康な高齢者の割合 【前期高齢者】 | 2019年度 95.8 % | 2021年度 95.5 % | 2022年度 95.6 % | | 2026年度 96.0 % | -100% |
| 6 | ②市民生活：ヘルシー&交流シティの形成と質の高いライフワークスタイルの確立 | 健康な高齢者の割合 【後期高齢者】 | 2019年度 66.9 % | 2021年度 66.2 % | 2022年度 67.2 % | | 2026年度 66.0 % | -33% |
| 7 | ②市民生活：ヘルシー&交流シティの形成と質の高いライフワークスタイルの確立 | 市が依頼するメンタルヘルスサポーター数 | 2016年度 78 名 | 2021年度 79 名 | 2022年度 78 名 | | 2023年度 100 名 | 0% |
| 8 | ③エネルギー：セーフ&環境スマートシティと自立分散型エネルギーシステムの構築 | 温室効果ガス排出量の削減割合 | 2017年度 11.4 % | 2019年度 15.5 % | 2020年度 18.1 % | | 2030年度 30.0 % | 36% |
| 9 | ③エネルギー：セーフ&環境スマートシティと自立分散型エネルギーシステムの構築 | 電力需要に対する再生可能エネルギーの導入割合 | 2019年度 41.4 % | 2020年度 42.6 % | 2021年度 42.7 % | | 2030年度 47.2 % | 22% |
| 10 | ③エネルギー：セーフ&環境スマートシティと自立分散型エネルギーシステムの構築 | 自主防災組織の組織率 | 2019年度 68.8 % | 2021年度 73.3 % | 2022年度 75.3 % | | 2026年度 70.0 % | 542% |

富山県富山市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

| No | 取組名 | 指標名 | 当初値 | 2021年実績 | 2022年実績 | 2023年実績 | 2023年目標値 | 達成度(%) |
|----|-------------------------------------|---------------------------------------|------------------|------------------|------------------|---------|------------------|--------|
| 11 | ④産業：産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造 | 市内総生産 | 2017年度 19,725 億円 | 2018年度 21,373 億円 | 2019年度 21,311 億円 | | 2025年度 20,803 億円 | 147% |
| 12 | ④産業：産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造 | 富山市センサーネットワークを活用した実証実験公募採択数 | 2019年度 23 事業 | 2021年度 61 事業 | 2022年度 74 事業 | | 2024年度 40 事業 | 300% |
| 13 | ④産業：産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造 | スマート農林水産業導入経営体数 | 2020年度 - 件 | 2021年度 4 件 | 2022年度 5 件 | | 2026年度 12 件 | 42% |
| 14 | ⑤都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上 | 富山市SDGsサポーター数【個人】 | 2020年度 590 人 | 2021年度 979 人 | 2022年度 1,044 人 | | 2025年度 1,200 人 | 74% |
| 15 | ⑤都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上 | 富山市SDGsサポーター数【法人数】 | 2020年度 72 社 | 2021年度 271 社 | 2022年度 339 社 | | 2025年度 200 社 | 209% |
| 16 | ⑤都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上 | SDGs推進コミュニケーター数 | 2020年度 50 人 | 2021年度 109 人 | 2022年度 147 人 | | 2025年度 300 人 | 39% |
| 17 | ⑤都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上 | Sketch Labで実施する課題解決型プロジェクトへの市外からの参加人数 | 2020年度 - 人 | 2021年度 99 人 | 2022年度 208 人 | | 2024年度 300 人 | 69% |
| 18 | ⑤都市・地域：多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上 | SDGs教育の実施件数 | 2019年度 171 件 | 2021年度 166 件 | 2022年度 195 件 | | 2025年度 178 件 | 343% |

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

第二次計画2年目となる昨年度の取組の達成状況は、昨年に引き続き、概ねKPI達成に向かっていくものと判断する。

5つの推進分野のうち、「①都市のかたち」においては、第一次計画から継続して公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトシティ形成に係る事業を展開しており、指標No.3「中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量」については、富山駅前に商業施設が開業し歩行者通行量が増加したため目標値を上回る結果となり、指標No.2「公共交通利用率」も、昨年度からは改善した。一方、指標No.1「総人口に占める公共交通が便利な地域に居住する人口の割合」については昨年と同値であったものの、地域特性に応じた多様な生活交通の提供（地域自主運行バス等）やグリーンスローモビリティのモデル運行等を実施していることから、今後達成に向かっていくものと判断する。

「②市民生活」では、当市の要介護認定率の低下に伴い指標No.6「健康な高齢者の割合[後期高齢者]」は目標値を達成したが、指標No.5「健康な高齢者の割合[前期高齢者]」は当初値を下回った。また、コロナ禍の影響等もあり、指標No.4「健康であると感じる市民の割合」および指標No.7「市が依頼するメンタルヘルスサポーター数」が当初値より下回る結果となったものと推察され、今後、長期的な取組により達成を図る必要があると考える。

「③エネルギー」に関しては3つのKPIにおいて達成、或いは達成に向かっていく。取組みとしては、温室効果ガスの削減に向けた取組方針や施策等を定めた計画の整理・統合を図り、より効果的な運用や評価を行っていくため、令和5年3月に「富山市地球温暖化対策推進計画」を策定した。また、再生可能エネルギーの導入拡大に向けて、公共施設や市有地における導入可能性調査を行い、その結果から、導入可能性が高いと考えられる公共施設及び市有地について、具体的な導入可能量やP P A等の手法を含めた導入方法の詳細な調査を行っており、引き続き実装に向けた検討を進める必要がある。

「④産業」については、富山市センサーネットワークを活用した実証実験や、農業・果樹事業・水産業へのスマート機器導入事業が着実に実施されており、3つのKPIにおいて達成、或いは達成に向かっていく。

「⑤都市・地域」については、SDGsウィークの実施やSketch labの活用をはじめ、SDGsを「知る・理解する・実践する」の区分ごとに施策を推進するとともに、多様なステークホルダーとの連携、パートナーシップの構築に取り組んでおり、いずれのKPIも順調に増加した。